

アンラボ・セキュリティレター

Press **Ahn**

2015.11 Vol.23

バック・トゥ・ザ・フューチャーPART2 で描く 2015 年とは



バック・トゥ・ザ・フューチャーPART2で描く 2015 年とは

タイムマシン、ホバーボード、靴ひもを自動で締めるナイキのシューズ、空飛ぶ車...

これらの単語から思い浮かぶ映画は、今では古典となったタイムトラベルものの代表作「バック・トゥ・ザ・フューチャー (Back to the Future)」だろう。1980～1990年代の大ヒット作だったバック・トゥ・ザ・フューチャーPART1、2がデジタルリマスターリングによって2015年10月21日に再公開された。PART2では、未来として2015年が描かれているが、劇中の2015年ほどのような姿だったのだろうか。映画の再公開をきっかけに1989年に想像した「未来の2015」と「現在の2015」を比較しながら、映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」をさらに深く楽しもう。

30年前の映画が再公開された理由は、1989年に公開された「バック・トゥ・ザ・フューチャーPART2」の中で主人公マーティ・マクフライとエメット・ブラウン博士（通称ドク）がタイムスリップした未来の日付がまさに2015年10月21日だったからだ。我々は、彼らがあれほど知りたがっていた未来を現在生きている。1989年公開当時に一大センセーションを起こした理由は、劇中登場した奇抜な「未来」アイテムのおかげといっても過言ではない。その中には現在日常的に使用中のモノもあれば、まだ研究開発中のモノや2015年の技術でもまだ実用化は遠い未来のモノもあった。本作はストーリーはもちろんのこと、1989年に想像で描かれた2015年の未来情景を鑑賞する楽しさもまた大きいのだ。



[図1] タイムマシンで2015年にやって来た主人公ら

空飛ぶホバーボードは、テスト飛行中？

バック・トゥ・ザ・フューチャーPART1でスケートボードを上手に乗りこなしていた主人公マーティ。未来世界が舞台として登場するPART2では空飛ぶスケートボード「ホバーボード（Hoverboard）」を見て驚愕するシーンがある。2015年現在、浮遊するホバーボードは様々な方法でトライされているが、映画のように商用化されるまではまだまだ時間がかかりそうだ。しかし実用化に向けた愉快的挑戦が続いている。

自動車ブランド「レクサス」はブランド広報の一環として行われた「Amazing in Motion」キャンペーンで、ホバーボードを披露してみせた。レクサスのホバーボードは、液体窒素を冷した超伝導体と永久磁石を利用して空中に浮かべていた。このボードは磁場を利用するため、金属板の上でのみ動作する。水上以外の場所で自由自在に動作していた映画のホバーボードとは違い、現実世界では制約の多いホバーボードになっている。

米国カリフォルニア州の新興企業「hendo」が開発したホバーボードの場合は、米国タイム誌が選定した2014年最高の発明品にも選ばれた。このホバーボードの場合は、磁場を放出するエンジンを駆動してボードを浮かせる仕組みになっており、本格的な量産を準備しているという。



[図2] ホバーボードと靴にも自動調節シューズ

靴にも自動調節シューズは商用化なるか

主人公マーティが未来世界で感心しながら履いていた靴にも自動調節シューズの「Nike MAG」は、2011年に一度販売されたことがある。当時の製品は見た目は映画のシューズそっくりでも重要な靴にも自動調節機能は扱っていた。ところがナイキは、今年中に当シューズを新たに発売するという噂もあるため商用化されるかどうかは、もう少し見守ったほうが良さそうだ。

空飛ぶ自動車、まだまだ先の話

映画では2015年頃に空飛ぶ車が登場すると描かれていたが、車はまだ路上を走っている。しかし自動車を空中に浮かせるための努力は現在進行中だ。現在空飛ぶ車に最も近い形は、Terrafugiaのトランジション(Transition)ではないだろうか。MIT卒業生らが起こしたこの会社は、2006年から飛行車のトランジションを研究している。2009年のプロトタイプ飛行に成功した後、量産のための研究を続けているそうだ。

実は日本のトヨタも空飛ぶ車を開発中であり、9月日本経済新聞ではトヨタの米国子会社であるTEMAが、空飛ぶ自動車のための量産用翼を米国に特許出願したと伝えた。だがトヨタ開発中のも空を自由に飛べるのではなく、道路を若干外れて摩擦なしに運行する程度だという。



[図3] 空飛ぶ車

ジョーズ19、残念ながらPART4以降公開されず

映画「ジョーズ」は当時の最高ヒットシリーズの一つであった。スティーブン・スピルバーグ監督のジョーズは 1975年に公開され、1978年にPART2、1983年にPART3、1987年にPART4を公開して以来 2015年現在まで続編は出ていない。

しかしバック・トゥ・ザ・フューチャーPART2の中では、2015年頃には「ジョーズPART19」が公開されるシーンが登場していた。マーティがジョーズのホログラム広告を見て驚く場面も印象的だ。ホログラム広告も試験的に披露されているが、まだ普及しているとはいえない。一方ユニバーサルスタジオは、バック・トゥ・ザ・フューチャーの再公開にあたり、ジョーズ19の予告編を公開したりした。

秒単位の天気予報、実現できるか

2015年の未来にやって来たブラウン博士は、秒単位の天気予報のおかげでいつ雨が止むか正確に知っている。映画のように秒単位で気象変化を予測してくれる天気予報があるなら、これから雨が降られて肌か濡れることはないだろう。だがこれもまだ先の話だ。天気予報の精度は過去に比べてはるかに良くなっているが、不測の変数などにはまだ正確な予測が困難な状況である。

犬を散歩させるドローン

無人飛行機ドローン(Drone)を犬の散歩用に使用しているかはともかく、ドローンは商用化されたと見てよいだろう。もとは軍用だったドローンが、2013年米国アマゾンが配送に使用したことで一般にも知られた。

現在はカメラを付着して使用するなど、その用途は多様な領域に広がっている。国内でも趣味用にドローンの人気が高まる傾向にある。

超薄型テレビ、テレビ電話、指紋認証ドアは現実のものに

複数のチャンネルを同時に視聴できる音声認識機能付き超薄型TVは、現在のTVに非常に近い。むしろ現在の技術のほうが音声認識以上にスマートなものになり、TVでインターネットやショッピングもできる。1980年代のTVは、テレビ台の上に置いて視聴する据え置きものだったが、その後TVはますます薄くなり、縁のように壁にかけられるようになった。スクリーンを利用したテレビ電話の場合も実現された技術だ。むしろ2015年にはスクリーンなしでも非常に簡単にテレビ電話ができる。[図4]でマーティの息子が電話用途でかけているメガネは一見Google Glassに似ているが、実はGoogle Glassのほうが当時の想像をはるかに超えるレベルだ。指紋認証で玄関のドアロックを開錠する技術もまた、現在商用化されている。



[図4]Google Glassを連想させるメガネ形態の電話

米国の天文学者カール・エドワード・セーガン(Carl Edward Sagan)と、世界的な未来学者であり理論物理学者ミチオ・カク(加来 道雄)は「バック・トゥ・ザ・フューチャー」を歴代タイムマシン映画の中で最高の映画と絶賛している。劇中のアイテムがすべて実現されるのはいつのことかわからないが、本作の想像力が今まで影響を及ぼしているという点是非常に驚くべきことだ。バック・トゥ・ザ・フューチャーの想像力にもう一度拍手を送る。



バック・トゥ・ザ・フューチャー（Back to the Future1&2）

- 監督：ロバート・ゼメキス（Robert Zemeckis）
- 出演：マイケルJ.フォックス（Michael J. Fox）、クリストファー・ロイド（Christopher Lloyd）
- ジャンル：SF/コメディ
- 公開：2015年10月21日
- 上映時間：PART1- 120分/ PART2- 107分

「バック・トゥ・ザ・フューチャー」は、1985年にPART1、1989年にPART2、1990年にPART3が公開され、世界的に暴発的なヒットとなった。

今回の再公開は、米国、英国、フランス、ドイツ、韓国など全世界同時公開となる。



<http://jp.ahnlab.com>

<http://global.ahnlab.com>

<http://www.ahnlab.com>

アンラボとは

株式会社アンラボは、業界をリードする情報セキュリティソリューションの開発会社です。

1995年から弊社では情報セキュリティ分野におけるイノベーターとして最先端技術と高品質のサービスをご提供できるように努力を傾けてまいりました。今後もお客様のビジネス継続性をお守りし、安心できるIT環境づくりに貢献しながらセキュリティ業界の先駆者になれるよう邁進してまいります。

アンラボはデスクトップおよびサーバー、携帯電話、オンライントランザクション、ネットワークアプライアンスなど多岐にわたる総合セキュリティ製品のラインナップを揃えております。どの製品も世界トップクラスのセキュリティレベルを誇り、グローバル向けコンサルタントサービスを含む包括的なセキュリティサービスをお届け致します。

AhnLab

〒108-0014 東京都港区芝4丁目13-2 田町フロントビル3階 | TEL: 03-6453-8315 (代)

© 2015 AhnLab, Inc. All rights reserved.